

# 新規就農のススメ

花のまち 当別町で農業を始めませんか  
当別町農業総合支援センターの活動を紹介します

## 当別町の農業

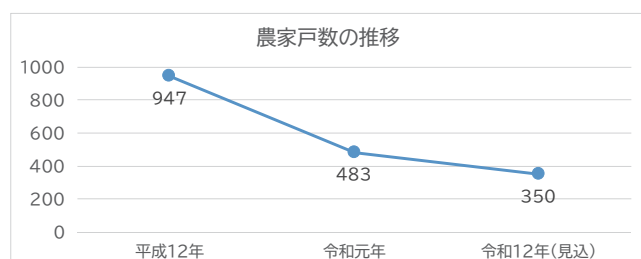
当別町は農業が基幹産業です。町の面積の約20%が農地で、豊かな水と石狩平野の恵まれた土地条件を生かした水田・畑作や花きを中心とする農業を展開しています。

米、小麦、大豆、小豆、にんじん、アスパラガス、馬鈴薯、南瓜、スイートコーン、キャベツ、ブロッコリー、豚、肉牛、酪農、食卓を彩る花き（切花）に至るまで、多種多様な作物がつくられています。

## 抱える課題

当別町は、農業者の高齢化による担い手不足が深刻な課題となっています。

当別町の農家戸数は、平成12年には947戸ありましたが、令和元年には483戸まで減少しています。今後も農家戸数の減少は進み、令和12年には約350戸まで減少する見込みです。



## 農業の新たな担い手の育成を目指して 当別町農業総合支援センターを設立

担い手不足の解消をめざして、JA北いしかり、農業委員会や当別町など農業に関係する9団体により、令和元年に当別町農業総合支援センターを設立しました。

支援センターでは、担い手確保と育成をはじめ、地域の基幹産業である農業の活性化に取り組んでいます。

## 就農の相談から就農後の経営安定まで一貫してサポート

支援センターでは、就農相談はもちろん、研修カリキュラムの作成や就農に必要な農地の確保、就農後のバックアップまで、ワンストップ体制でサポートを行います。

安定した経営に必要な農作業技術の習得や農地を取得するには、2年間の研修が必要となります。

農業体験などを通じて就農を決意した方には、指導農家を紹介し、研修中もしっかりサポートします。

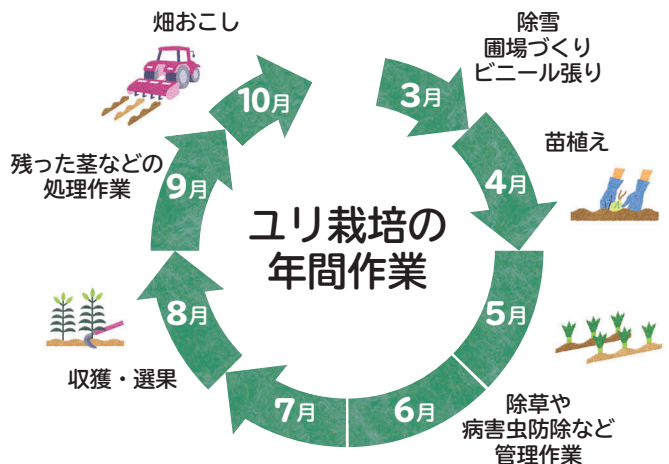


## 花きでの新規就農を後押ししています

当別町は、道内屈指の花き生産地です。ユリ、カスミソウ、カーネーション、ヒマワリ、トルコギキョウ、カラー、チューリップ、デルフィニウム、キイチゴ、バラなど多くの品目を生産しています。

町内約80戸の花き生産者が、品目ごとに部会をつくって、栽培技術の向上に取り組み、高品質な花きを安定して生産しているので、全国の市場からの信頼も厚く、他の産地よりも高単価で取引されています。

これまで築き上げてきた当別町の高い技術力と信頼性を最大限に活かし、花きでの新規就農を後押しします。



## 就農に関する相談はいつでも受付！ 現地相談会で農作業や当別町での生活もイメージできます

支援センターでは、新規就農に興味のある方の相談をいつでも受け付けています。

「就農に必要な資金は？」、「所得はどれくらい？」、「どんな作業をするの？」、「当別町の暮らしは？」、「利用できる助成制度は？」、「まずは体験してみたい」など、下記までお気軽に相談ください。

当別町農業総合支援センター  
当別町錦町 53 番地 57 (JA北いしかり内)  
TEL : 0133-23-2552  
Mail : nougyou-shien@ja-kitaishikari.or.jp



現地相談会 (ひまわり収穫) の様子